

# ●がん患者等への支援（がん患者等支援部会）

## ①相談支援及び情報提供

| めざす姿   | <p><b>■最終目標</b></p> <p>すべてのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ことができ、その悩みや疑問が軽減している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th><th>評価指標</th><th>現状値<br/>(基準値)</th><th>目標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん患者の不安や悩みが軽減されている</td><td>がんと診断されたことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減した</td><td>ならのがんに<br/>関する患者意<br/>識調査</td><td>36.4%<br/>(H29)</td><td>増加</td></tr> <tr> <td>がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている</td><td>からだや治療のことでの心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある</td><td>ならのがんに<br/>関する患者意<br/>識調査</td><td>32.3%<br/>(H29)</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table> |                          |                                      |      |    | 目標   | 評価指標         | 現状値<br>(基準値) | 目標                    | がん患者の不安や悩みが軽減されている                       | がんと診断されたことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減した | ならのがんに<br>関する患者意<br>識調査              | 36.4%<br>(H29) | 増加                               | がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている    | からだや治療のことでの心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある | ならのがんに<br>関する患者意<br>識調査 | 32.3%<br>(H29) | 増加 |
|--|--|--------------------------|--------------------------------------|------|----|------|--------------|--------------|-----------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------|----------------------------------|--------------------------|--|-------------------------|----------------|----|
| 目標   | 評価指標   | 現状値<br>(基準値)             | 目標                                   |      |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |
| がん患者の不安や悩みが軽減されている   | がんと診断されたことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減した   | ならのがんに<br>関する患者意<br>識調査  | 36.4%<br>(H29)                       | 増加   |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |
| がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている  | からだや治療のことでの心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある   | ならのがんに<br>関する患者意<br>識調査  | 32.3%<br>(H29)                       | 増加   |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |
| <p><b>■中間目標</b></p> <p>がん患者やその家族に必要な情報が届き、質の高い相談支援が受けられる体制が進んでいる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th><th>評価指標</th><th>現状値<br/>(基準値)</th><th>目標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がんに関する情報が得やすい体制ができている</td><td>がんに関する情報（治療方法、診療体制、治療費用、社会保障制度など）が不十分である</td><td>ならのがんに<br/>関する患者意<br/>識調査</td><td>22.3%～<br/>44.4%<br/>(H29)<br/>(国3-7回目)</td><td>減少</td></tr> <tr> <td>がん患者やその家族等が、質の高い相談支援が受けられる体制ができる</td><td>がん相談支援センターを利用して、相談が役に立った</td><td>がん相談支援<br/>センター利用<br/>状況調査</td><td>100%<br/>(H28)</td><td>現状維持</td></tr> </tbody> </table> |  |                          |                                      |      | 目標 | 評価指標 | 現状値<br>(基準値) | 目標           | がんに関する情報が得やすい体制ができている | がんに関する情報（治療方法、診療体制、治療費用、社会保障制度など）が不十分である | ならのがんに<br>関する患者意<br>識調査              | 22.3%～<br>44.4%<br>(H29)<br>(国3-7回目) | 減少             | がん患者やその家族等が、質の高い相談支援が受けられる体制ができる | がん相談支援センターを利用して、相談が役に立った | がん相談支援<br>センター利用<br>状況調査               | 100%<br>(H28)           | 現状維持           |    |
| 目標   | 評価指標   | 現状値<br>(基準値)             | 目標                                   |      |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |
| がんに関する情報が得やすい体制ができている  | がんに関する情報（治療方法、診療体制、治療費用、社会保障制度など）が不十分である   | ならのがんに<br>関する患者意<br>識調査  | 22.3%～<br>44.4%<br>(H29)<br>(国3-7回目) | 減少   |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |
| がん患者やその家族等が、質の高い相談支援が受けられる体制ができる   | がん相談支援センターを利用して、相談が役に立った   | がん相談支援<br>センター利用<br>状況調査 | 100%<br>(H28)                        | 現状維持 |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |
| 個別施策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援機能の強化</li> <li>・患者目線での情報提供の充実</li> </ul>   |                          |                                      |      |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |
| 平成30年度<br>計画   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. がん患者・家族への相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC）</li> <li>・拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施（6/7実施）</li> </ul> </li> <li>2. がん患者・家族への情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント（リレーフォーライフ やпон奈良）会場での情報発信（10/6-10/7）</li> </ul> </li> <li>3. （新） ライフステージ等に応じた相談体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん相談支援センター・保健所相談員等研修会の実施（11/11）</li> <li>・小児がん患者の家族等交流会（1/19）</li> </ul> </li> <li>4. がん診療連携協議会の取組</li> </ol> <p style="text-align: right;">(資料4-8)</p>             |                          |                                      |      |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |
| 開催日  | 平成30年11月頃、平成31年2月頃（予定）   |                          |                                      |      |    |      |              |              |                       |  |                                      |                                      |                |                                  |                          |  |                         |                |    |

## ■保健所がん患者サロン平成30年度計画

●目的 がん患者、その家族が相互に交流・情報交換できることを目的に、地域でのがん患者サロンとして、保健所で開催する。

●対象 県内に居住するがん患者及びその家族等

●内容

| 実施機関  | 日 時                           | 内 容   |
|-------|-------------------------------|---|
| 中和保健所 | 平成30年7月30日（月）<br>13:30～16:00  | ■講演会 「自分の機嫌のとり方～笑うコツ～」<br>奈良県立医科大学健康管理センター<br>古西満 氏<br>■交流会   |
|       | 平成31年1月下旬～2月上旬<br>13:30～15:30 | ■交流会  |
| 郡山保健所 | 平成30年9月15日（土）<br>13:30～16:00  | ■講演会 がんと告知されたら、病気と立ち<br>向かうことができますか<br>「病気と向き合うためのサポート」<br>奈良県立医科大学附属病院<br>がん看護専門看護師 梅岡京子 氏<br>■交流会 |
|       | 平成30年11月17日（土）<br>14:00～16:00 | ■交流会  |
| 吉野保健所 | 平成30年7月14日（土）<br>13:30～15:30  | ■講演会 「がん医療におけるこころのケアについて」<br>奈良県立医科大学附属病院<br>緩和ケアセンター長 四宮敏章 氏<br>■交流会                               |
|       | 平成30年12月14日（金）<br>13:30～16:00 | ■交流会  |

## ■がん患者サロン運営者会議

- 目的  
・がん診療連携拠点病院等9病院、保健所3カ所の計12カ所で、がん患者サロンを実施。
- 経緯  
・27年度に実施したピアサポートー意見交換会で、「サロン運営の責任の所在を明確にすること」と「ピアサポートーと連携したサロン運営を」という意見が出された。
- ・28年度からがん拠点病院では、がん患者サロンの運営責任者を明確にし、定期的にピアサポートーと運営会議を開き、効果的なサロン運営に取り組んでいる。また県ではサロン運営者の情報共有及び情報交換を目的に当会議を実施している。

- 対象者  
・がん診療連携拠点病院等担当者（計9病院）、3保健所がん患者サロン担当者

### ●内 容

| 日時・場所                                      | 内 容 ・ 講 師  | 参加者                                   |
|--|--|---------------------------------------|
| 平成30年6月7日（木）<br>13:30～16:00<br>奈良県総合医療センター | ●第3期奈良県がん対策推進計画について<br>●がん患者サロンの運営についての報告・情報交換<br>●奈良県の取組及び30年度計画について<br>●奈良県総合医療センターがん相談支援センター等見学 | ・対象の全9病院<br>14人<br>・保健所9人<br><br>計23人 |

- 概要  
・病院がピアサポートーと運営会議を行い、それぞれの病院で特徴のあるサロンの実施にむけて動きだしている。（医大では、小児・AYA世代など、利用しにくかった人が参加できる工夫の検討。県総合センターではテーマ別グループ活動の実施等検討）  
・当会議を拠点病院の会議室で開催することで、終了後、施設見学ができ、施設内の工夫等を学ぶ機会となっている。



# 平成30年度がん患者のアピアランスケア研修会実施要領

## 1. 趣旨

- ・第3期奈良県がん対策推進計画でのがん患者等への支援では、「すべてのがん患者やその家族が、不安、悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している」ことをめざす姿とし、相談支援機能の強化及び患者目線での情報提供の充実を個別施策として掲げている。
- ・がん医療の進歩により、がんになっても長期に生存できるようなり、働きながらがん治療を受けている方が増加するなど、治療に伴う外見（アピアランス）の変化等社会的な課題への対応も求められている。
- ・医療従事者がアピアランスケアの意義について理解を深めること、また病院の取組を意見交換し、より良いアピアランスケアをがん患者さんに提供できることを目指し、研修会を実施する。

2. 対象 がん診療連携拠点病院等の医療従事者（がん相談員、看護師等）  
保健所がんサロン担当者 等 (50人程度予定)

## 3. 日時及び場所

日時：平成30年11月11日（日） 14:00～16:00

場所：近畿大学医学部奈良病院 5階講堂

\*相談支援分科会「奈良県がん相談員研修会」（11月11日9:30～13:00、近大病院）の後実施。

## 4. 内容：

①講演「アピアランスケアの意義とエビデンス」(65分)

　　国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター長 野澤 桂子 先生

質疑応答（10分）

②病院の取組の発表（25分、5病院×5分）、質疑応答（10分）

|             |     |                   |                        |
|-------------|-----|-------------------|------------------------|
| 14:00～14:05 | 5分  | 挨拶                | 疾病対策課長                 |
| 14:05～15:20 | 75分 | アピアランスケアの意義とエビデンス | ・講演（65分）<br>・質疑応答（10分） |
| 15:20～15:25 | 5分  | 休憩                |                        |
| 15:25～16:00 | 35分 | 病院の取組（5病院）        | ・発表（25分）<br>・質疑応答（10分） |

## 5. 案内方法

- ・がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県がん診療連携支援病院への案内
- ・「がんネットなら」での周知

## 6. 申込み

- ・県疾病対策課に必要事項を記入の上、要申込。

# 平成30年度 小児がん患者の家族等交流会について

## 1. 趣旨

- ・日本では、年間に約2,500人のこどもたちが新たに「がん」と診断されており、県内の15歳未満の新規患者数は14人（平成25年）である。
- ・「がん」は、日本人の死亡原因の第1位であり、5歳以上のかどもの病死原因の第1位である。
- ・小児がんは稀な病気で発見が難しく、がんの増殖も速いが、成人のがんに比べて化学療法や放射線療法に対する効果が極めて高いのが特徴で、現在では70～80%が治るようになってきている。
- ・小児がん患者は、病気が治癒した後も、治療の副作用や病気の影響が後々まで残るなどの晚期合併症で、長期のフォローアップが必要になることもある。
- ・平成28年度に実施した小児慢性特定疾病医療費受給者の保護者を対象とした調査では、情報や相談場所、患者や親同士の交流の場所を希望している方が多いことがわかった。
- ・これらより、小児がん患者の家族等が、がんの現状や晚期合併症について学ぶとともに、同じような経験を持つ人と交流を持つことで、抱える問題の解決の糸口を見つけたり、問題との向き合い方に気づくことを目的として交流会を実施する。

## 2. 対象 県内在住の小児がん患者の家族等

## 3. 日時及び場所

日時：平成31年1月19日（土） 14:00～16:15

場所：奈良県社会福祉総合センター 中会議室

\*参加者15組程度を想定

## 4. 内容：

- 講演 「小児がんの現状と長期フォローアップ」(60分)

奈良県立医科大学 小児科 助教 石原卓 氏

- 交流会 テーマ：「現在の状況とこれからについて（仮）」(60分)

|             |     |            |  |
|-------------|-----|------------|--|
| 14:00～14:05 | 5分  | 挨拶         | 疾病対策課長   |
| 14:05～15:05 | 60分 | 講演<br>質疑応答 | 講演：「小児がんの現状と長期フォローアップ」<br>奈良県立医科大学 小児科<br>助教 石原卓 氏 |
| 15:05～15:15 | 10分 | 休憩         |  |
| 15:15～16:15 | 60分 | 交流会        |  |

## 5. 案内方法

- ・県民だより（12月号）予定
- ・がん診療連携拠点病院での周知
- ・「がんネットなら」の掲載

## 6. 申込み

- ・県疾病対策課に電話にて申込み。氏名、患者との間柄、年齢、性別、がん種、講演会・交流会で聞きたいことなど聞き取り。

## ②がん患者の就労を含めた社会的な問題

| めざす姿                                   | <p><b>■最終目標</b></p> <p>がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。</p>  |                                   |      |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
|--|--|-----------------------------------|------|--------------|----|--------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|----|--|--|-----------------------------------|----|
|  | <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th><th>評価指標</th><th>現状値<br/>(基準値)</th><th>目標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減されている</td><td>がんの治療を受けながら、働き続けられる環境だと思う</td><td>ならのがんに関する患者意識調査<br/>29.1%<br/>(H29)</td><td>増加</td></tr> <tr> <td>がん患者が働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる</td><td>がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援が受けられた</td><td>ならのがんに関する患者意識調査<br/>78.9%<br/>(H29)</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table>   | 目標                                | 評価指標 | 現状値<br>(基準値) | 目標 | がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減されている | がんの治療を受けながら、働き続けられる環境だと思う | ならのがんに関する患者意識調査<br>29.1%<br>(H29) | 増加 | がん患者が働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる | がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援が受けられた   | ならのがんに関する患者意識調査<br>78.9%<br>(H29) | 増加 |
| 目標                                     | 評価指標   | 現状値<br>(基準値)                      | 目標   |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
| がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減されている   | がんの治療を受けながら、働き続けられる環境だと思う  | ならのがんに関する患者意識調査<br>29.1%<br>(H29) | 増加   |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
| がん患者が働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる | がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援が受けられた   | ならのがんに関する患者意識調査<br>78.9%<br>(H29) | 増加   |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
|  | <p><b>■中間目標</b></p> <p>県民や事業者のがんやがん患者に対する理解や支援が進んでいる。</p>  |                                   |      |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
|  | <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th><th>評価指標</th><th>現状値<br/>(基準値)</th><th>目標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所と医療機関、県、国（労働局等）の有機的な連携が一層推進している</td><td>仕事と治療の両立支援体制のある事業所の割合</td><td>職場環境調査<br/>75.3%<br/>(H28)</td><td>増加</td></tr> <tr> <td>がん患者に仕事と治療の両立についての必要な情報を提供できている</td><td>がんで初めて治療・療養したとき、一定期間（連続して3カ月以上）仕事を休み、復職、復帰した</td><td>ならのがんに関する患者意識調査<br/>37.6%<br/>(H29)</td><td>増加</td></tr> </tbody> </table>   | 目標                                | 評価指標 | 現状値<br>(基準値) | 目標 | 事業所と医療機関、県、国（労働局等）の有機的な連携が一層推進している   | 仕事と治療の両立支援体制のある事業所の割合     | 職場環境調査<br>75.3%<br>(H28)          | 増加 | がん患者に仕事と治療の両立についての必要な情報を提供できている        | がんで初めて治療・療養したとき、一定期間（連続して3カ月以上）仕事を休み、復職、復帰した | ならのがんに関する患者意識調査<br>37.6%<br>(H29) | 増加 |
| 目標                                     | 評価指標   | 現状値<br>(基準値)                      | 目標   |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
| 事業所と医療機関、県、国（労働局等）の有機的な連携が一層推進している     | 仕事と治療の両立支援体制のある事業所の割合  | 職場環境調査<br>75.3%<br>(H28)          | 増加   |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
| がん患者に仕事と治療の両立についての必要な情報を提供できている        | がんで初めて治療・療養したとき、一定期間（連続して3カ月以上）仕事を休み、復職、復帰した   | ならのがんに関する患者意識調査<br>37.6%<br>(H29) | 増加   |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
| 個別施策                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実</li> <li>・がん患者の治療と仕事の両立体制の整備</li> <li>・就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実</li> </ul>   |                                   |      |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
| 平成30年度<br>計画                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. がん患者への就労相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「就労相談支援」チラシの作成（10,000部）</li> <li>・事業者向け研修会での周知（奈良県のがん対策、就労支援の取組について）<br/>(11/9 全国健康保険協会奈良支部の研修の中で実施)</li> </ul> </li> <li>2. がん診療連携協議会の取組<br/><span style="float: right;">(資料4-8)</span></li> <li>3. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組<br/>奈良労働局 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期療養者就職支援事業<br/>(ハローワーク大和高田、奈良県立医科大学附属病院出張相談)</li> <li>・治療と仕事の両立支援に関するガイドラインの周知</li> </ul> 奈良産業保健総合支援センター <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者や患者（労働者）からの両立支援に関する相談及び個別調整支援</li> <li>・事業主や産業保健関係者向け研修会の実施</li> <li>・両立支援対策の普及促進のための個別訪問支援</li> </ul> </li> </ol> |                                   |      |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |
| 開催日                                    | 平成30年11月頃、平成31年2月頃（予定）   |                                   |      |              |    |                                      |                           |                                   |    |  |  |                                   |    |